



アナログ信号を計算して制御

標準アナログ出力制御・増幅器

- 2点のアナログ信号の出力値を計算して監視・制御
- 圧力・流量・レベル・温度等を計算した差分を監視
- 2点の独立リレー出力によるリミット値通知
- IO-Linkの多彩で便利なパラメータ設定
- OLEDディスプレイに値を見やすく表示しパラメータを設定



ifm – close to you!

技術データDL3003

入力	アナログ×2 (4~20mAまたは0~10V)
出力	リレー×2 アナログ×1 (4~20mA) 、IO-Link、 DC 24V (センサ電源)
使用電源電圧範囲	AC 110~250V またはDC 24V
保護構造	IP20

アナログプロセス値の監視

センサは製造業のさまざまな現場で使われ、温度や圧力、流量などのプロセス値を検出します。

多くの場合、センサで直接プロセス値を監視します。ただし、差分によりプロセス値を監視したい場合は、測定機器が2台必要になります。

測定値を計算して診断

本製品は、2台のアナログセンサをさまざまな動作モードで接続できます。

このため、2点のスイッチングポイントを1つの信号として、また1つのリミット値を2つの測定値に割り当てられます。この2つの信号の測定値をスケーリングし、加算・減算処理することが可能です。

こうして求めたプロセス値を最大2点のスイッチングポイントで監視し、4~20mAの1つのアナログ信号として出力できます。

また測定値は、IO-Linkのデジタル通信で上位制御機器へ送信できます。IO-Linkでは、多彩なパラメータ設定を簡単に行うことができます。



フィルタの差圧測定

フィルタの入口と出口の圧力の差を2台の圧力センサで測定します。使用しているうちにフィルタが詰まると圧力差が大きくなります。



発酵タンクの圧力測定

タンク底部の液体の水圧と、発酵により液体の上部に溜まるガスの圧力を測定します。液体の圧力値からガスの圧力値を差し引くと、タンク内の液面レベルが求められます。

BEST FRIENDS

製品改良のため、記載事項を予告なしに変更する場合があります。・09.2024
ifm electronic gmbh · Friedrichstr. 1 · 45128 Essen



moneo|RTM
状態監視を手軽に実現する分析ソフトウェア



圧力センサ
圧力値とレベルを正確に測定



温度センサ
温度を安定検出



詳細情報はこちら：
ifm.com/fs/DL3003